

## 平成 28 年 12 月度活動報告

### 1. 総括

師走の 12 月も皆様のお陰様をもちまして、議員活動に励ませて頂きました。誠にありがとうございます。議員にならせて頂き早 2 回目の冬を迎えました。日々、ご負託に答えられているのか自問自答しながら活動をさせて頂いております。今後も全力で頑張る所存です。12 月は議会一色であり 11 月 29 日～12 月 19 日まで会期期間に予算決算常任委員会・総務民生常任委員会・新幹線対策特別委員会等を通して行政側、議員間で侃々諤々の議論をさせて頂きました。特に新幹線対策特別委員会では「新幹線駅舎のデザインコンセプト」の決定や新幹線駅前広場やアクセス道路の計画について調査をさせて頂きました。駅舎のデザインコンセプトは「空にうかぶ ～自然に囲まれ、港を望む駅～」に決定し、市民から集まりました候補案で評価が高かったものを合作する形で決められました。評価につきましては当新幹線対策特別委員会も議論をさせて頂き、駅舎の高さは日本一になる予定でもあることから個人的には非常に良い駅舎のデザインコンセプト案になったと思います。この案を鉄道運輸機構に提示して、機構側から駅舎のイメージデザイン 3 案が敦賀市側に示される予定であります。平成 29 年度も更にしつかりと調査・議論をさせて頂き、多くの市民にご納得頂けるイメージに近づけられるように精進し決めて参りたいと存じます。今後ともご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

### 2. 12 月議会の一般質問内容について (12 月 8 日)

当議会におきましても一般質問に立たせて頂きました。当選させて頂いてから毎議会一般質問を行っております。故郷敦賀の課題を議論させて頂ける場に立てることに感謝の思いを持ち、議場に立たせて頂いております。今後も毎議会積極的に一般質問に立ちます。

<http://www.tsuruga-city.stream.jfit.co.jp/> ←宜しければ、配信ご確認お願い致します。

＝内容＝

#### (1) 北陸新幹線の整備について

論点として、新幹線敦賀駅開業は敦賀の交通・経済・観光面等大きくプラスであり、その一番の恩恵を受けるべきは敦賀市民、特に次の時代を担う敦賀の若者・子ども達でならないといけないということ。

よって既存駅施設の乗換利便性の重要性については関係機関に対して強く要望してほしいことや駅西地区整備の進捗状況確認、提言を議論した。

#### (2) 国道 8 号東浦バイパス、県道 209 号五幡～田尻間整備進捗状況について

東浦地区の悲願であり、敦賀市としても大きな課題である国道 8 号東浦地区バイパスの整備進捗状況と今後のスケジュールについて質問した。私も 12 歳までを東浦地区で過ごしており国道 8 号東浦区間の諸問題は経験も含めて理解しており、何としてでもバイパス整備が必要と感じている。市長も就任当時から精力的に国に働きかけて頂いており着実に前に進んでいると感じる。オール敦賀で取り組んでいる問題であり、私も微力ながら先祖代々お世話になり自身のルーツである東浦地区の為に頑張っていく所存です。今後も市長に対し積極的に要望活動の促進を働きかけて行きたい。

#### (3) 観光政策と人材育成について

最後に観光政策とそれを支える人材育成について議論、提案した。現在国の観光政策でも示されている通り、地域の大切な文化財（氣比神宮、金崎宮）を大切にしながら街づくりや観光の拠点していく必要性を訴えた。その中で門前の活性化、敦賀に愛着がもてるイベントの復活などを議論し、前向きな答弁を行政側から引き出した。



以上